

**令和 7 年度（2025 年度）
10 月入学**

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

**博士後期課程学生募集要項
特別選抜（推薦）**

【連絡先】

〒670-0092

姫路市新在家本町 1-1-12

兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課

電話 (079) 292-1513 FAX (079) 292-1530

問合せ受付時間 平日 9:00～17:00

目 次

	ページ
I. 令和7年度10月入学募集要項	1～3
1 募集人員	
2 出願資格	
3 出願手続	
4 選抜方法	
5 試験日時・実施方法	
6 試験場	
7 合格発表	
8 入学手続	
9 入学料及び授業料等	
10 注意事項	
11 障がいのある者等への配慮	
12 不測の事態（交通機関の乱れ、災害発生等）について	
13 長期履修制度について	
II. 環境人間学研究科（博士後期課程）教員表	4
【その他】	
試験会場案内図	5
【出願手続に関する提出書類等】	
① 入学願書	（様式1）
② 推薦書	（様式2）
③ 博士前期課程における研究概要	（様式3）
④ 博士後期課程における研究計画書	（様式4）

教育ポリシー（大学院環境人間学研究科） 抜粋

1. 育成する人材像

環境人間学研究科では、次のような人材を育成することを目指す。

- ① 環境と人間に関する学際的、融合的なアプローチを通じて、新たな環境創造を担う高度な識見と、環境に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる研究力を有する人材
- ② 人間学の基本に立ちながら、21世紀の自然環境、科学技術、地域社会、人間、あるいはその関係性はどうあるべきかという視点で考究し、社会のニーズに応える高度な専門知識と問題発見能力を備えた人材

2. アドミッション・ポリシー

- ①入学前に必要な能力や適性など

（博士後期課程）

<求める学生像>

- 1) 環境に関する諸問題に関心を持ち、専門職業人としての基礎的な学問を学び、研究を行う意欲がある人
- 2) 環境に関する諸問題に対して、より広い視野、高度な知識、鋭い先見性をもって、体系的な問題発見・分析能力、および技術を身に着けることを目指している人
- 3) 環境に関する諸問題に対応する方策を具体的に考察し、知的好奇心を持って積極的・活動的に取り組む行動力がある人
- 4) 環境と人間との相互作用として、人間の健康や文化の多様性を探求し、環境共生社会の実現に向けた具体的な方策を考えようとしている人

<アドミッション・ポリシー>

- 1) 知識・技能

博士後期課程では、博士前期課程で学んできた専門分野の知識と、環境と人間に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる能力を駆使して、現代社会が抱える様々な課題を捉えて、その解決を行うことのできる高度な知識と技術を身に付けることができる人

- 2) 思考力・判断力・表現力

研究者および社会人としての経験や仕事を通して、環境人間学の大切さを認識し、その実践力を発揮するための思考力、判断力、表現力を身に付けることができる人

- 3) 主体性・多様性・協働性

人間社会のニーズに応える諸課題に対して、環境人間学を積極的に応用し、国際的な視野に立って解決の方策を実践するための主体性、多様性、協働性を身に付けることができる人

②入学後に求めること・持つべき目的、意欲など

(博士後期課程)

<求める学生像>

これらの分野で、次代を担う環境人間学に関する学術的・実践的な新たな学際研究を開拓し、そこで創出される研究成果を実社会に最大限に換言することによって、地域社会やグローバル社会の発展に貢献するための研究意欲にあふれた人

③入学前に学習しておくことが期待される内容

(博士後期課程)

環境人間学研究科博士後期課程で学ぶために必要な大学院博士前期課程修了相当の基礎学力と、幅広い教養及び高度な専門性

④入学選抜における評価方法、その比重等

(博士後期課程)

本研究科では、国内外の大学で博士前期課程あるいは修士課程で修士を取得した人、社会人として本研究科の研究課題と関係のある業務に携わってきた人など、広い分野からの学生を求めている。

本研究科では、入学者選抜の基本方針として、受験機会の複数化を保証し、本研究科の教育理念・目標に合致した学生の選抜を行っている。博士後期課程では、特別選抜（推薦）、一般選抜、特別選抜（社会人、外国人）を実施している。入学者の選抜は、口述試験、面接、および出願書類により、志願者の能力や資質に関する総合的な評価に基づき、研究能力を有する人材の選抜を実施している。出願書類審査により、文章力、語学力、専門的知識等について評価し、口述試験及び面接によりプレゼンテーション能力についても評価する。

I. 令和7年度10月入学兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 博士後期課程学生募集要項 特別選抜（推薦）

1 募集人員

環境人間学専攻

若干名

2 出願資格

以下の(1)～(3)のすべてを満たす者

- (1) 現在本研究科博士前期課程に在籍し、令和7年9月30日までに修了見込みの者
- (2) 本研究科博士後期課程研究指導教員より推薦を受けた者
- (3) 合格した場合に、入学することを確約できる者

3 出願手続

(1) 出願方法

出願書類等を持参または郵送してください。

出願書類等を郵送される場合は、出願書類等を角形2号サイズの封筒に入れ、封筒の表に「環境人間学研究科出願書類在中」と朱書きし簡易書留速達扱いで郵送してください。

ア 出願期間

令和7年7月22日（火）から7月31日（木）まで（必着・消印不可）

平日の午前9時30分から午後4時まで。土曜・日曜・祝日は受付できません。

イ 出願書類の提出先

〒670-0092 姫路市新在家本町1丁目1-12 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課

(2) 出願書類等

ア 入学願書（提出前3か月以内に撮影した写真を2枚貼付）（様式1）

イ 本研究科博士後期課程研究指導教員の推薦書（様式2）

ウ 博士前期課程における研究概要（本学所定の用紙に日本語で記入のこと）（様式3）

エ 博士後期課程における研究計画書（本学所定の用紙に日本語で記入のこと）（様式4）

オ 出身大学の成績証明書及び博士前期課程の成績証明書

カ TOEIC、TOEFL-iBT(Home editionを除く。出願スコアは、Test Data Scoreのみ認め、My Best Scoreは認めない。)のうちいずれかをあらかじめ会場受験した上で、その成績証明書（公式認定証）のコピー（成績証明書の有効期限は、願書提出期限日から3年以内とする。すなわち、証明書発行日が令和4年7月31日～令和7年7月31日までのもの。）

キ 受験票返送用レターパックライト（郵便局等でレターパックライト(青)を購入し、お届け先(TO)欄に①郵便番号、②住所、③氏名を明記し、二つ折りにして出願書類に同封してください。）

ただし、令和7年8月4日(月)～8月8日(金)に受験票を学務課に取りに来る者は提出の必要はありません。

4 選抜方法

本研究科博士後期課程研究指導教員の推薦に基づき、口述試験及び出願書類を総合して入学者を選抜します。

5 試験日時・実施方法

試験日	科目	時間
令和7年8月20日（水）	口述試験	10：00～（9：45集合）

※口述試験は、博士後期課程の研究内容に関する20分程度のプレゼンテーションを含みます。

6 試験場

兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス 詳細は当日、F棟前掲示板にて通知します。
5ページの試験会場案内図等を参照してください。

7 合格発表

令和7年8月28日（木）午後2時

兵庫県立大学環境人間学部・研究科のホームページ (<https://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>)
に掲示するとともに、合格者には合格通知書等を送付します。

なお、合否結果に関する電話等による問合せには、応じません。

8 入学手続

手続期間 令和7年9月上旬（入学手続書類は合格通知書とあわせて送付する。）

9 入学料及び授業料等

（令和7年4月1日現在）

区分	納付時期	令和7年9月	10月	令和8年7月	計
入 学 料		—	—	—	—
授 業 料		—	267,900 円	267,900 円	535,800 円
諸 経 費		36,000 円	—	—	36,000 円

【留意事項】

- ・授業料の額や徴収方法等は、兵庫県公立大学法人授業料等に関する規程によります。
なお、当該規程の改正により、授業料の額や徴収方法等が変更される場合があります。
- ・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料の額を適用します。
- ・令和6年度から実施している「授業料等無償化制度」により、授業料が免除になる場合があります。
最新の情報は下記HPでご確認ください。

＜兵庫県HP「県立大学の無償化」＞

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk35/kennritudaigakumushouka.html>



10 注意事項

(1) ロ述試験に含まれる「プレゼンテーション」について

プレゼンテーションの内容は、博士後期課程の研究に関することで、時間は20分程度とし、原則としてパソコン（以下、PC）を使用して実施してください。

試験当日に発表用のデータが入ったUSBメモリを持参し、そのデータを用いてプレゼンテーションを行ってください。試験開始前に、作動確認を行います。

データはオフラインで発表できる内容で作成してください。トラブルが起きた場合を想定し、プレゼン資料を紙に印刷して持参したり、自分のPCを持参したりして、各自で対策をとるようにしてください。

PCは原則大学が用意したPC（Windows11, PowerPoint2024）を使用していただきますが、トラブルが発生した場合は持参したPCの使用を認めます。

(2) 出願者は、希望する研究の指導教員とあらかじめ協議の上、出願してください。

11 障がいがある者等への配慮

入学を志願する者で、障がいを有する者等、受験及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある者は、学務課にあらかじめ電話でお問合せください。

所定の相談申請書（医師の診断書等を添付）が提出された後、配慮内容等を決定します。必要な場合は志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等と面談を行います。相談申請書提出期限は令和7年6月27日（金）午後4時までです。

※上記期限を超えた場合であっても、ご事情があれば相談を受付けます。

12 不測の事態（交通機関の乱れ、災害発生等）について

- (1) 試験当日、台風や地震等不測の事態により交通機関が途絶したり遅延した場合、状況によっては試験時間を繰り下げたり、試験日を変更するなどの措置をとることがあります。
- (2) そのような事態が発生したときは、午前8時以降環境人間学部のホームページ上に掲載するので確認してください。（<http://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>）
- (3) 問合せは兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課（TEL 079-292-1513）まで

13 長期履修制度について

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象としています。

事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。本制度を利用したい方は、出願前に希望する指導教員と相談してください。

Ⅱ. 環境人間学研究科（博士後期課程）教員表

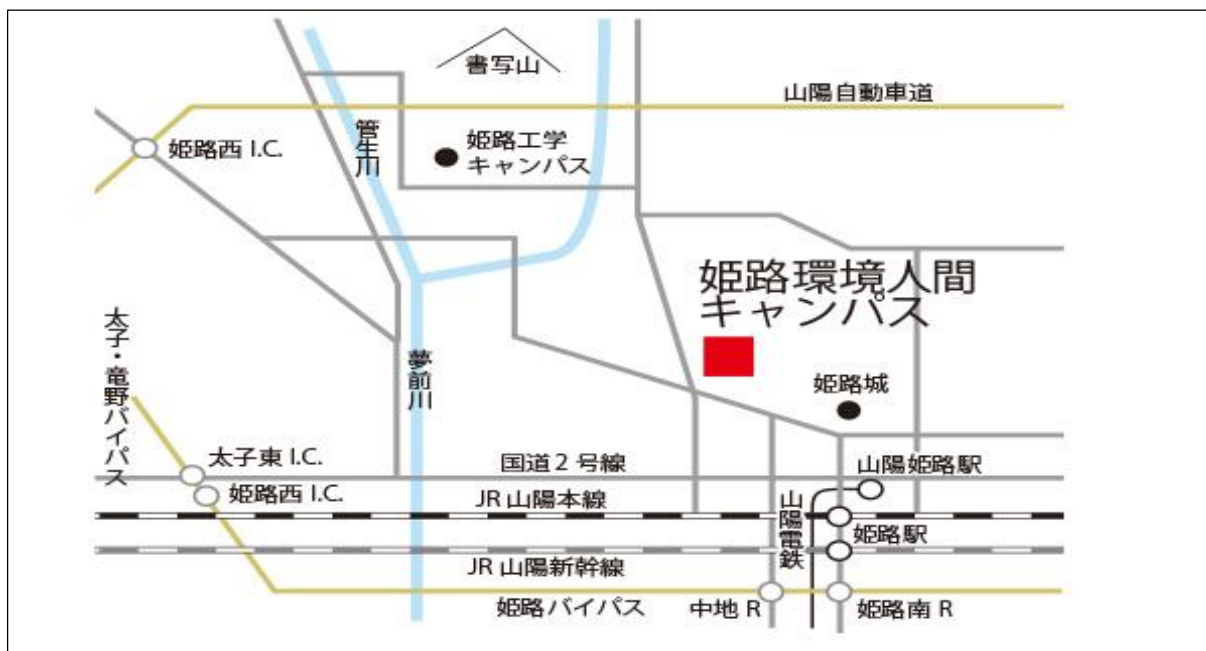
*印は、研究指導教員

（令和7年4月1日現在）

授業科目	担当教員(研究部門)及び授業等の概要
環境人間学 特別演習	<p>本特別演習は教員の個別のフィールドから、環境と人間の相互関係について考察し、総合的に捉えることができるようにする。また、これらに隠されている問題を正しく認識・評価し、問題の解決をめざし、好ましい環境創造のための新しい知の体系化を考究することにより、それぞれの専門領域における諸問題を総合的に考察し、解決できる能力を深めさせる。</p> <p>[人間環境部門]</p> <p>有満秀幸 教授（食品の安全性について微生物学の視点から）</p> <p>* 伊藤美紀子 教授（疾患における代謝異常と栄養療法の視点から）</p> <p>* 乾美紀 教授（マイノリティの教育問題とそれに対する教育支援の視点から）</p> <p>井上靖子 教授（臨床心理学、心理療法とカウンセリングの視点から）</p> <p>* 内田勇人 教授（子どもの発達と健康、高齢者の健康の視点から）</p> <p>* 加藤陽二 教授（食品・生命科学と生活環境の視点から）</p> <p>金子一郎 准教授（老化予防栄養学の視点から）</p> <p>鄭成 教授（個人史の視点から）</p> <p>* 寺西雅之 教授（文体論および英語教育・学習論の視点から）</p> <p>中出麻紀子 准教授（健康的な食事・食習慣と関連要因の視点から）</p> <p>* 村上明 教授（食品成分の機能性についてストレス応答の視点から）</p> <p>森寿仁 准教授（健康・スポーツトレーニング科学の視点から）</p> <p>* 吉田優 教授（代謝物解析の視点から）</p> <p>[社会環境部門]</p> <p>* 赤澤宏樹 教授（緑地計画学の視点から）</p> <p>* 石田弘明 教授（植生学の視点から）</p> <p>* 宇高雄志 教授（人間居住の視点から）</p> <p>内平隆之 教授（建築学における地域マネジメントの視点から）</p> <p>* 宇野康司 教授（地質学の視点から）</p> <p>* 太田尚孝 教授（都市計画学の視点から）</p> <p>* 大橋瑞江 教授（生態系の構造と機能の視点から）</p> <p>* 木村玲欧 教授（社会科学的的手法による災害・防災研究の視点から）</p> <p>* 栗山武夫 准教授（哺乳類の生態系管理の視点から）</p> <p>* 高橋鉄美 教授（進化生態学の視点から）</p> <p>中桐齊之 准教授（生態環境と情報科学的な視点から）</p> <p>* 中畠一憲 教授（環境経済学の視点から）</p> <p>廣瀬孝太郎 准教授（地球環境進化学の視点から）</p> <p>藤木大介 准教授（野生動物管理と森林管理の視点から）</p> <p>三田村哲哉 教授（建築意匠学の視点から）</p> <p>* 森光由樹 准教授（保全生態学の視点から）</p> <p>* 安枝英俊 教授（建築計画学の視点から）</p> <p>山田量崇 教授（昆虫系統分類学の視点から）</p> <p>* 山端直人 教授（野生動物管理と農村計画学の視点から）</p> <p>* 横山真弓 教授（野生動物管理学の視点から）</p>

試験会場案内図

兵庫県立大学 姫路環境人間キャンパス



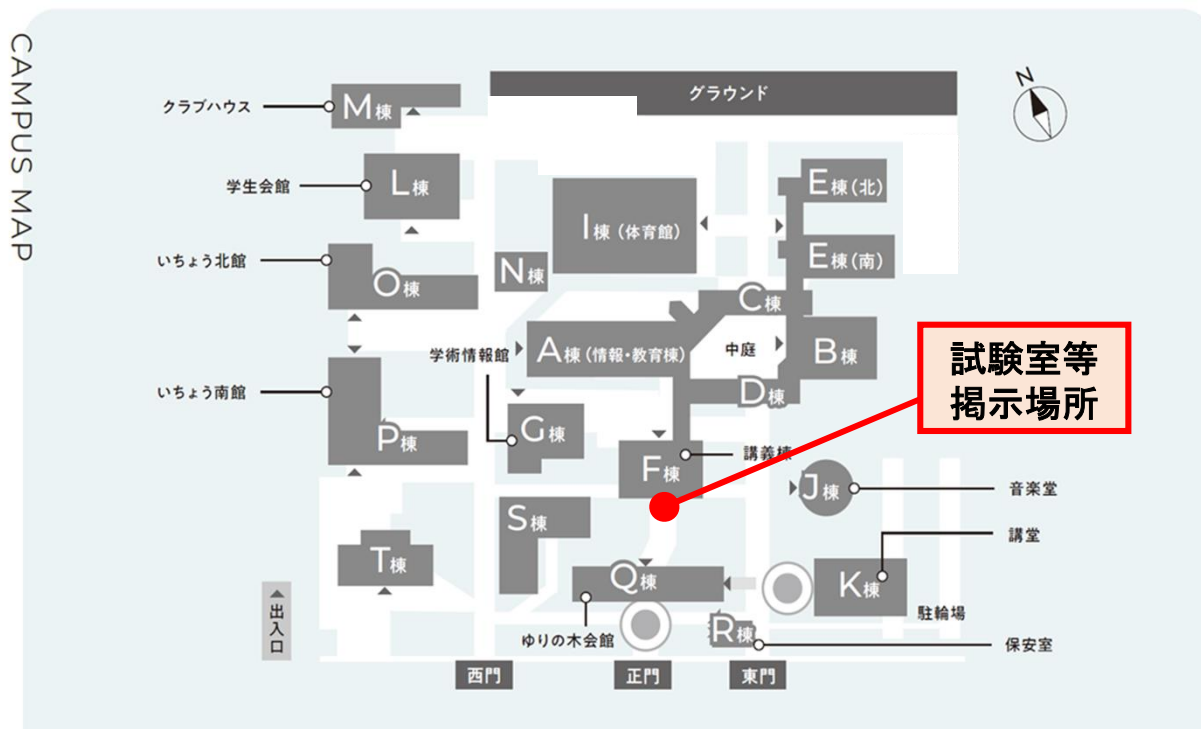
【交通】

姫路駅（JR・山陽電車）前の神姫バス9番・10番乗り場から出発するバスは全て「県立大環境人間学部」を経由します。

※バスを利用する方は、姫路工学キャンパス行きのバスに乗らないように注意してください。

※タクシーを利用する方は、「新在家の環境人間学部」と告げて、姫路工学キャンパスでないことを明確に伝えてください。

キャンパス内建物配置図



博 士 後 期 課 程

(樣 式)

令和 7 年度

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士後期課程10月入学特別選抜（推薦）入学願書

環 境 人 間 学 専 攻		受 験 番 号		※			
フリガナ				性 別	1. 男 2. 女	生 年 月 日	S・H 年 月 日
氏 名							
出 願 資 格	出身 学校	兵庫県立大学環境人間学研究科博士前期課程 令和 年 月 修了見込み					
現 住 所		〒 — TEL () —					
メールアドレス		@					
緊 急 連 絡 先	住所 氏 名	〒 — TEL () — 続柄				※ 入学査料 領収印	

※欄は、記入不要 裏面にも記入のこと

令和 7 年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程10月入学特別選抜（推薦）写真票

受 験 番 号	
※	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	兵庫県立大学大学院博士前期課程

写真貼付欄
受験票と同じ
ものを貼る
4cm×3cm

入学査料
領 収 印

令和 7 年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程10月入学特別選抜（推薦）受験票

受 験 番 号	
※	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	兵庫県立大学大学院博士前期課程

◇ 試験日
令和7年8月20日（水）

◇ 試験場所
兵庫県立大学
姫路環境人間キャンパス

写真貼付欄
提出前3か月
以内に撮影
した写真（無
帽・上半身
正面）
4cm×3cm

入学査料
領 収 印

(裏面)

学 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
職 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

- 注意
- 1 緊急連絡先の欄は、本人に必ず連絡できるものを記入すること
 - 2 ※印のところは記入しないこと
 - 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること
 - 4 学歴は高等学校入学時から記入すること

(様式2)

推薦書

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院
環境人間学研究科長 様

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程研究指導教員
職・氏名

印

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士後期課程入学（令和7年10月入学）
志願者として、下記の者を推薦し、入学した場合、その研究指導を行うことを
承諾する。

志願者	ふりがな 氏 名 (生年月日)	昭和 年 月 日生 平成
	所 属 ・ 職 名	

(志願者の研究分野、素質、将来の希望等、ご意見を下欄にご記入下さい。)

--

博士前期課程における研究概要

博士前期課程環境人間学専攻

氏 名 _____

研究題目

研究概要

博士後期課程における研究計画書

氏 名

研究題目

研究計画

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

<http://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>

〒670-0092 兵庫県姫路市新在家本町1丁目1番12号

TEL (079) 292-1513(学務課直通) FAX (079) 292-1530